

令和6年12月2日

3 か月程前に保健指導を受けまして、食事をどうするとか、運動をどうするとかいくつか約束をしました。特に食事面、ジュースやスポーツドリンクをお茶や水に置き換えるとか、ご飯の時にお米の量を茶碗一杯から茶碗半分くらいに減らすとか、洋菓子を和菓子に変えるといった約束なんですけど、とにかくやってみました。

そうすると、すごいもんですね、1 か月目くらいはあまり効果が出なかったんですけど、2 か月目あたりから効果が出始め、結果的に3 か月くらいで体重が3 キロ程減りました。こんな効果が出るのかと驚いた半面、健康というのは当たり前のように当たり前ではないんだなと気付きました。

この、当たり前のように当たり前ではない事、というのは最近もいくつかありました。

たとえば、先月、税務署長から優良申告法人の表敬を受けましたが、私としては、「物流を通じて得た収益から納税する。そして正しく経理処理をして適正に申告する」という当たり前のことをやっているつもりだったんです。しかし考えてみると、優良申告法人というのは全国のありとあらゆる会社の中で1%未満しかないんですよ。つまり99%以上の会社にとっては当たり前のことではないっていうことに気付きました。

あと、今、新しい基幹システムのテストをやっていますが、この新しい基幹システムのマスターコード、“041”とか“042”だったら配送関係のコードですが、これらのコードは基本的に現行の基幹システムのコードと同じものなんですよね。

「そんなの当たり前だ」と思う方も多いかもしれませんが、これらのマスターコードが全国共通のものだったならそうでしょう。でも、当社独自のコードですからね。これが新しい基幹システム、しかもパッケージで同じように使えるというのは、実は当たり前ではないんです。

当たり前のように当たり前ではないことに気付くというのは、自己の成長につながりますが、もう一つ、当たり前ではないことというのは「ありがたき(難き)こと」、ここから「ありがとう」という言葉が出て「感謝」につながっていきます。

私も今年は「ありがたきこと」に気付くことがいつもの年より多かったように思います。来年もそんな気付きが多い年になればいいなと思います。

以上

代表取締役社長 角高哲治